

平成 28 年度 一般会計（歳出） 性質別決算額

	20 億円	40 億円	60 億円	80 億円	100 億円	120 億円	140 億円	160 億円
平成 27 年度	人件費 28 億 8,927 万円	扶助費 12 億 783 万円	公債費 25 億 7,924 万円	普通建設事業費 19 億 2,156 万円 災害復旧費 4 億 2,946 万円	物件費 21 億 2,484 万円 維持補修費 1 億 8,837 万円	補助費など 12 億 4,423 万円 積立金 12 億 9,686 万円	繰出金 20 億 4,872 万円	
平成 28 年度	人件費 28 億 2,724 万円	扶助費 13 億 8,881 万円	公債費 25 億 9,562 万円	普通建設事業費 25 億 2,944 万円 災害復旧費 8,839 万円	物件費 22 億 4,285 万円 維持補修費 1 億 8,191 万円	補助費など 12 億 1,143 万円 積立金 11 億 4,177 万円	繰出金 20 億 9,430 万円	
	義務的経費			投資的経費		その他経費		

平成 28 年決算の概要

平成 28 年度の決算の概況および平成 29 年度の 9 月 30 日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

歳入

昨年度と比べて、1 億 6,080 万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

● 増額

- ・ 県支出金／強い農業づくり交付金の増
- ・ 地方債／辺地対策事業債（防火水槽設置・道路 3 路線改良・簡易水道施設整備）の増

● 減額

- ・ 国庫支出金／紀州材公共施設整備事業補助金の減、臨時福祉給

歳出

付金給付事業補助金の減、地方交付税／普通交付税の減（合併算定替特例措置の段階的縮減）

昨年度と比べて、3 億 7,139 万円の増額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

● 増額

- ・ 普通建設事業費／強い農業づくり交付金事業の増、金屋文化保健センター大規模改修事業の増
 - ・ 扶助費／臨時福祉給付金給付事業の増
- #### ● 減額
- ・ 災害復旧事業費／公共土木・農地などの災害復旧工事費の減
 - ・ 積立金／公共施設整備基金積立金の減

一般会計決算額を町民 1 人あたりに換算すると…

1 人あたりの町税負担額は
10 万 9,191 円（前年比 1.6%増）

1 人あたりの地方債残高は
82 万 8,654 円（前年比 1.8%減）

※人口（平成 29 年 3 月末現在） 2 万 7,007 人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

実質収支額／形式収支（各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額）から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

地方債／特定の歳出に充てるため、地方自治体が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。